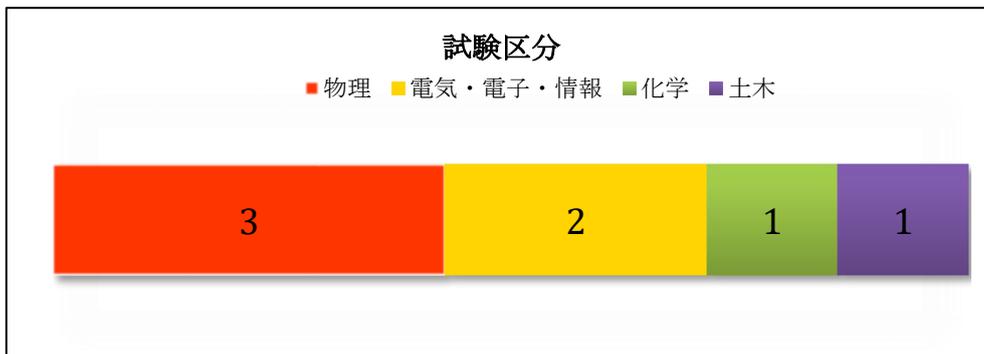


第二部 内定者の国家公務員採用一般職試験 体験記

第二部では、一般職の内定者 2 名による国家公務員一般職試験の勉強方法、いわゆる筆記試験等の勉強・対策方法をお伝えします。「試験対策のバランスは?」「この勉強方法ってどうやるの?」と気になる理工系の方、サンプル数は少ないですが、試験対策の参考にいただければ幸いです。

過去 3 年分 一般職理工系内定者の試験区分・勉強方法の内訳



- ☒ 本紙に記載している試験方法や内容は、H29 年度国家公務員採用試験について述べたものであり、H30 年度以降の試験とは試験時期や英語試験の活用などの点で異なる可能性があります。また、勉強方法や試験対策のバランス等については、あくまでも内定者個人の見解に過ぎず、もし事実と異なった場合でも責任はとりにかねますことをご了承下さい。あくまでも、本紙は受験者様の参考程度としてご覧いただければ幸いです。

－ 簡単な国家公務員一般職試験の内容の説明 －

【一次試験（教養+専門）】

全てマーク式の筆記試験です。教養試験では全問が必須問題、専門試験は必須問題と選択問題とに分かれています。この試験と同日に記述式専門試験というものも行うので、長丁場の体力勝負はここから始まっているように思います。一次試験に合格後、人事院面接へと進みます。大体の問題集にも記載されていますが、一般職の場合、専門試験は大学、大学院の試験や入試が選択式になっているようなイメージです。

【記述式専門試験（論文）】

選択した専門分野と社会的な問題等を織り交ぜて自分の意見を論ずる論述問題です。時間は一時間です。集中力の維持と短時間での記述能力が大事になると思います。

【人事院面接】

当日までに面接カードを記入して、基本的にその内容に沿って質問される個人面接です。面接時間はおよそ 20 分程度で、面接官は 3 人です。基本的にこのカードに沿って質問されますので書いた内容をよく頭に入れておくとよいと思います。

PN：ベーコン (物理区分/大卒程度)

1. 勉強量について

(勉強開始時期、勉強法、勉強量等)

勉強は修士 1 年の 10 月頃から本格的に始めました。一般職に向けた勉強というよりも、一般職試験対策も兼ねた総合職試験に向けた勉強という意識でした。勉強方法として、10 年分の過去問題や市販の参考問題集を用いました。

【専門と教養、論文のバランスは】

割合としては、専門：教養：論文＝7：3：0 です。論文対策は、過去問を見て形式を確認しただけです。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

知能分野は毎日少なくとも 1 問は解くことを意識しました。問題は過去 10 年分の過去問や市販の問題集のものを解きました。一日あたりに解く問題はわずかでも、この分野の勉強から長期間離れないことが能力アップのコツだと感じました。

知識分野は主に時事問題を重視しました。日々の新聞を読んだり、市販の時事集を用いたりして勉強しました。

【専門試験（選択科目）】

ひたすら総合職の過去問（10 年分）を解き続けました。解き方が分からない問題は、インターネットや大学の授業で用いた教科書で調べ、後で必ず見直せるようにしました。

【論文】

特別な対策はほとんどしませんでした。過去問を見て問題形式を確認しただけです。試験本番では、自分の意見をいかに論理的にわかりやすく記述するかを意識しました。

【人事院面接】

面接カードの作成に力を入れました。作成した面接カードは身近な人物に見てもらい、アドバイスを頂きました。記述した内容に対して予想される質問への回答はある程度準備しておくとういと思います。

面接本番では緊張すると思います。質問されたことに対してゆっくりでもいいので焦らず的確に回答することを意識するといいかもかもしれません。

PN：つなまよ (物理区分/大卒程度)

1. 勉強量について

(勉強開始時期、勉強法、勉強量等)

勉強は半年前から始めました。総合職を併願していたので、主にそちらを意識し勉強していました。試験まで 2 か月になったら過去問を解き始め、不正解の問題の類題を勉強し直しました。

【専門と教養、論文のバランスは】

4:6 だったと思います。専門は大学の授業でやった内容が主だったので軽く復習する程度でした。論文にはあまり力はいれませんでした。

2. 勉強・試験内容

【教養試験】

市販されている公務員試験用の学習参考書を用いて行っていました。そのなかでも配点の高い数的処理と対策が必要と思われた現代文・時事問題を中心に行いました。社会科学や歴史はある程度範囲を絞り勉強をしました。

【専門試験（選択科目）】

基本的に大学の教科書や授業ノートを用いて勉強しました。必須問題は素直な問題が多いですが、選択問題は少し専門的な問題もあるので、あらかじめ解答する分野を決めておいた方がいいと思います。

【論文】

過去問に数回取り組みました。回答を友人や学校の就職担当の方に見せてアドバイスをもらいました。文章構成に不安があるという人は新聞記事の書き方を真似するといいと思います。起承転結がしっかりしているので参考になると思います。

【人事院面接】

基本的に面接カードに沿って質問をされました。書いた事に対し、自分がどのように考え行動したかなど、掘り下げるような質問を想定したほうがいいと思います。また、面接は慣れの一面があるので、他の公務員試験や民間企業の面接にも行ってみるといいと思います。